

# 群馬県国際理解教育研究会だより

群馬県国際理解教育研究会 発行責任者 会長 富澤 厚

2020年(令和2年)



## 教育フェスタに今年も参加!

今年度も群馬県総合教育センターで行われた教育フェスタに参加しました。昨年度の経験を活かし、当日の準備だけで会場設営を滞りなく進めることができ、進行もスムーズに行うことができました。普段のセミナーは、在外派遣に興味のある先生方しか参加しませんが、教育フェスタのようないろいろなイベントが催される会場でセミナーを行うと、他のブースが目的で来場された方にも足を運んでいただくことができ、多くの皆さんに本会の活動や在外教育施設の魅力を伝えることができ、大変意義のある開催となりました。ご協力いただいたみなさん、大変ありがとうございました。

### はじめに・・・



はじめに国際理解教育研究会の富澤会長より、あいさつと在外派遣の近況についての報告がありました。

今までに群馬県から派遣された教師は370名を超えているとのこと。現在、海外で生活する児童生徒の人数は微増傾向にあり、その反面、派遣教師の充足率は7割程度とのこと。そのため、シニア派遣の制度を導入し、教師の確保を目指しましたが、充足率はまだ8割に満たない状況にあります。2年前からプレ派遣制度(臨時の先生を派遣する制度)が始まりましたが、教員採用試験の受験をする場合の対応や、経験の少ない若い先生達の指導力の問題など、課題も少なくないとのこと。



このような機会を通じて、たくさんの先生方が在外派遣により一層興味を持っていただき、海外で生活を余儀なくされている子どもたちのために、少しでも多くの先生方が在外教育施設での勤務を希望してくれたら幸いです。

### 帰国教師実践報告



【コロンボ日本人学校】 都丸智崇先生

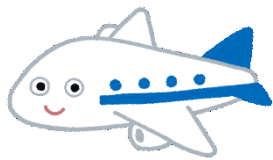
実践報告会では、最初にスリランカのコロンボ日本人学校に派遣された高崎市立桜山小学校の都丸智崇先生が発表して下さいました。

ゆったりとしたスリランカの民族衣装を身にまとった姿からは、スリランカの温暖な気候や穏やかな国民性などを垣間見ることができました。コロンボ日本人学校は、現在10～20人程度の小規模校で、アットホームな雰囲気の中で子ども達が学校生活を送っているようでした。スリランカ国籍の子どもも多数在籍しているとのことで、日常的に国際理解教育や現地理解教育を実践できる環境にあるそうです。



続いて、マレーシアのコタキナバル日本人学校に派遣された高崎市立群馬南中学校の藤生真之介先生が発表して下さいました。

コタキナバル日本人学校では、中学3年生以外の小1から中2のすべての学年で複式授業を取り入れているとのことでした。二学年同時に授業を進めるためには、それぞれの学年の子ども達に対して的確な発問をすることが大切だというお話がありました。また、小規模校ならではのよさを発揮して、日本人会と合同で行事しており、地域の人々と一緒に子ども達を育てていこうという学校の姿勢がとてもすばらしいと思いました。



【コタキナバル日本人学校】藤生真之介先生

## こんなことも・・・ブースを紹介します！



ぐんまちゃんも  
応援に来てく  
れました！

エレベーター前では、希望から派遣までの流れを解説しました。



在外教育施設の一覧表。現在、文科省に認定された在外教育施設は102校あります。



「派遣希望者と家族のための相談会」では、派遣を考えている先生方やご家族の個別相談を行いました。



待合室では、歴代の「世界の広場」や各国の民族衣装や日本人学校の写真などを紹介しました。

